

学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ 不安や困りごと、ありませんか？



学校に行きたがらない

- 学校から帰ってくるといつも疲れている
- 学校に行こうとすると頭やお腹が痛くなる
- 家や自分の部屋から出たがらない

子どもへの接し方が分からない

- 子どもに学校に行くよう働きかけてよいか
- 学校に行かない理由を聞いてよいか
- 理由を聞いてもよく分からない／答えたがらない
- 家庭学習を続けるべきか
- 誰にも相談できない

心配な状態が続いている

- ゲームやSNSに没頭して昼夜逆転している
- 学習の進度が遅れ、学校の授業についていけない
- このままでは、将来、進学や就職できないのでは

一人で悩まないでください。

不登校は誰にでも起こり得ることです。
お子さんや保護者の方の周りには、行政・民間の様々な支援の輪が広がっています。このパンフレットでは、不登校等学校が苦手なお子さんの保護者の方の相談先などについてご紹介します。

教室や家庭以外にも

多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、
保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。
まずは、学校・子ども応援委員会・ハートフレンドなごやに相談

学校・子ども応援委員会・「ハートフレンドなごや」(総合相談窓口)

お子さんの不登校が続く場合等、学習や生活に不安がある場合は、まずは、学校や子ども応援委員会、ハートフレンドなごや(総合相談窓口)まで御相談下さい。学校生活の悩みの相談や、学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。

紹介・接続

外には出られるが 対人不安が強い場合

- なごやフレンドリーナウ
(教育支援センター)
- ハートフレンドなごや
(来所相談)
- 民間団体(施設)

引きこもり傾向等 がある場合

- ハートフレンドなごや
(訪問相談)
- アウトリーチ支援
- ICT支援
(民間オンライン学習等)

医療的・福祉的なケア 等が必要な場合

- 医療機関
- 行政機関 等



その他関係機関

また、学校内にも落ち着いて過ごせる場所や相談に乗ってくれる専門家があります。
これらの教室の利用や相談を希望する場合は、各学校や子ども応援委員会にお問合せください。

学校・子ども応援委員会

校内教育支援センター (校内の教室以外の居場所)

中学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の空き教室等を活用した居場所のことです。

お子さんのペースに合わせて相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれます。

スクールカウンセラー

児童生徒の心のケアや、ストレスへの対処法心理の専門家、教育委員会から学校などに派遣または配置される方のことです。

公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。



スクールソーシャルワーカー

児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家で、教育委員会から学校などに派遣または配置される方のことです。社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。

お問い合わせ先

名古屋市教育委員会事務局
新しい学校づくり推進課分室
不登校児童生徒支援担当

住所 〒460-0003 名古屋市中区錦1-9-1
TEL 052-211-8931
MAIL a2537937@kyoiku.city.nagoya.lg.jp